

# 埼玉県秩父エリアにおける 総合診療専門医養成プログラム 専攻医募集のご案内

**同時募集** 初期研修医の「地域医療研修」



## 秩父地域における病院群の形成図



## ? ちちぶ医療協議会とは…

秩父地域の住民が  
安心して医療を  
受けられるために

ちちぶ医療協議会は「ちちぶ定住自立圏共生ビジョン」の医療分野における組織です。このちちぶ医療協議会は、秩父市、横瀬町、皆野町、長瀨町、小鹿野町の1市4町で協定が締結され、行政からの財政支援等により、医師・医療スタッフの確保、救急医療体制の維持、予防医療やリハビリテーションの充実に取り組み、推進するために設置されました。



# 埼玉県秩父エリアにおける専攻医・研修医受け入れ病院のご案内

ちちぶ医療協議会会長(秩父市長) 北堀 篤



**地域の住民が安心して医療を受けられるために  
地域医療に熱意のあるみなさん！秩父に集まり、力をお貸してください！**

秩父地域は、総務省が推進する地域振興政策である「定住自立圏構想」に1市4町で取り組んできました。この中で地域医療の問題を秩父地域全体の問題として取り上げ「ちちぶ医療協議会」を設置しました。その分科会で新専門医制度による**総合診療専門医養成プログラム「ちちぶ」**を作成しました。このプログラムの特徴は次のとおりです。

- ① 地域の医療を支える幅広い診療能力が習得できる(病院の救急医療から地域の在宅医療まで)
- ② 豊かな研修資源と医師育成の実績(地域の基幹病院、地域包括ケアシステム、診療所研修)
- ③ 研修に専念できる身分設計と研修環境(3年間一貫した身分で秩父地域内で研修ができる)

地域医療に熱意のある皆さん！ぜひ「ちちぶ」に集まってください。そして力をお貸してください。

秩父郡市医師会会長 井上 靖 先生



**地域全体で研修できるのがこのプログラムの特徴です**

「総合診療」や「地域医療」に少しでも興味をもたれた研修医や医学生の皆さんには、是非秩父での研修をおすすめしたいと思います。このプログラムにはそのノウハウが詰まっています。秩父の医師達は和漢蘭医が混在していた江戸時代やそれ以前から「地域医療」に熱心で、多くの医事業を全国にさきがけて導入してきました。そして現在、秩父では病院勤務医と開業医が親密な関係性をもって日常診療をしており、「ちちぶ医療協議会」などを通して医療、保健、介護、福祉の多職種と行政(1市4町)が密接に連携しています。

つまり、秩父地域の医療機関すべてが協力して一つの大きな「総合病院」を形成しているのが、秩父の医療の特徴と言えます。また、このプログラムには病院での研修が難しい診療科についても、研修医の皆さんの希望をもとにして医師会員の個人医院が参加しています。私たちは皆さんが秩父で研修されることを心待ちにしています。

千葉県循環器病センター臨床研修アドバイザー 平井 愛山 先生



**ぜひ秩父で地域医療の魅力に触れてみませんか**

秩父地域は、周囲を山々に囲まれた豊かな自然と歴史に恵まれており、高齢化や過疎化が進行する中で、住民同士の支え合いや「祭り」などを通じた地域交流が活発な地域で、地域に根ざした医療の原点に触れることができます。

秩父地域内の民間・公立病院が協力し合って、地元医師会・歯科医師会・薬剤師会・看護師会等医療関係者と福祉・住民団体関係者、行政機関が一体となり「ちちぶ医療協議会」を設立し、『地域ぐるみで研修医の育成支援』に取り組む体制は全国から注目されています。参加している5病院と領域別研修で協力いただく診療所等は、地域医療に積極的に取り組み、それぞれ特色のある研修プログラムを立ち上げ研修医の皆さんを待っています。

**専攻医・初期研修医の「地域医療研修」受入病院**

※初期研修の募集要項(資格、募集人数、応募方法他)は各病院毎に異なります。詳しくは各病院へご確認ください。

# ● 基幹施設 ● 秩父市立病院

地域一丸となって、質の高い総合診療・家庭医療専門医の育成を目指します！

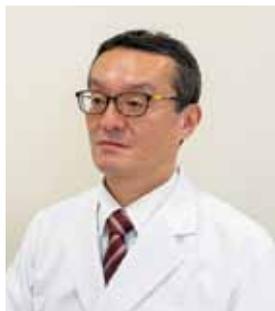


所在地	埼玉県秩父市桜木町8番9号
電話	0494-23-0611
診療科目	内科、循環器内科、消化器内科、小児科、外科、泌尿器科、脳神経外科、整形外科、麻酔科
病床数	165床（一般病棟129床、地域包括ケア病棟36床）
取得できる専門医	総合診療専門医
URL	<a href="http://www.city.chichibu.lg.jp/1037.html">http://www.city.chichibu.lg.jp/1037.html</a>

当院は総合診療専門医養成プログラム「ちちぶ」の基幹病院です。総合診療・家庭医療に興味のある専攻医・研修医を歓迎します。

- 勤務は総合内科医として、臓器別でない救急診療、急性期治療を中心に、外来診療、緩和ケア、在宅医療まで幅広い実践を行います。
- 臓器別専門内科、外科、整形外科、泌尿器科の専門医と連携しながら、総合的な視点での診療マネジメントを学びます。
- 「小児科研修」では、当地域唯一の入院診療の実践を行うとともに、高次医療機関との連携、地域における療育課題にも取り組みます。
- 上記のような業務の実践をしながら、秩父地域の中核公立病院として、地域全体の医療介護資源を俯瞰し、連携のノウハウを学びます。
- 病院内のみならず、地域健康増進、保健事業、介護施設管理、連携事業など幅広く参加し、地域全体の健康を守る医師を目指します。

## 島村 寿男 病院長



## 総合診療専門医養成プログラム「ちちぶ」

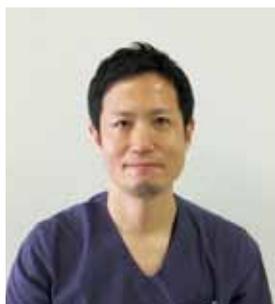
### ●研修目標

患者、家族のマネジメントに必要な知識、技能、態度を習得することで患者中心の医療を実現し、多職種連携を重視した地域完結型の医療を統合的に実践できる総合診療専門医になることを目指します。このプログラムでの研修によって、地域の診療所では外来診療を中心とする家庭医療や在宅医療が実践でき、地域の病院では入院管理や救急診療を中心に病院総合診療医としての役割を担うことができる足腰の強い総合診療専門医になることを目標としています。

### ●勉強会・カンファレンス等

病棟回診・チームカンファレンス：毎日、新患カンファレンス：週2回、多職種カンファレンス（リハビリ、褥瘡、摂食嚥下）：週1回、臨床倫理カンファレンス：適宜、経験省察研修録・ポートフォリオ作成支援：月1回、臨床病理症例検討会(CPC)：年1~2回、医師会主催研究会・講演会：適宜

## プログラム統括責任者 加藤 寿 先生



当院は秩父医療圏の中核病院であり、そこで求められる機能は、いわゆる「何でも屋」です。通常的外来診療や入院管理以外にも、末期癌患者や通院困難者に対する在宅医療、社会的孤立した独居の超高齢者、老老介護世帯、認知症問題、経済的な問題のある患者、アルコール依存のある患者への対応など、複雑な社会全体に対する総合的なマネジメント能力が必要になります。

私は、総合診療・家庭医療専門医に最も重要な能力は、「システム思考」と「連携・調整能力」と考えています。様々な背景を持つ患者の人生に寄り添い、より良い支援をする。そのために必要な課題を抽出し解決するためには、複雑な問題の全体を把握しつつ適切解を導く「システム思考」とそれを実行するための「連携・調整能力」が必要です。当院での研修は、まさにその能力を学ぶためには最適な環境が揃っています。医師同士and多職種での各種カンファレンス、外来～入院～在宅とシームレスな診療とそれに伴う地域連携、また研修生活全般をサポートする専任職員の配置、臨床研修室や図書室も整備しております。

当地域はいわゆる田舎ですが、そこで行われる医療は都市部の医療とは違ったやりがいがあります。コンパクトであるがための利点として、より濃厚な連携、より自分自身の力が試される感覚、そしてそれが地域全体に影響する感覚。この感覚は、はまる人には中毒性のある充実感です。自らの力を地域のために使ってみませんか？ご興味のある方は、是非とも一度見学に来てください。

## 家庭医療専攻医の声（埼玉医科大学家庭医療専門医プログラム） 一部抜粋

2019年に秩父市立病院で専門医プログラムを履修しました。日常の診療では初診および再診外来、そして救急当番を行いました。合併症の存在や時に家庭環境を考慮した治療方法や介護サービスを含めた社会的環境の構築も行う必要もあり、まさしく「病気を治す」のではなく「病気を持った患者を治す」ことが求められました。救急当番では専門病院への搬送には40-60分はかかるという地理的性質や、時に患者本人や御家族の希望を含めて搬送の可否を迅速に判断する必要がありました。いずれにも共通することとして、自分の能力や患者様自身の病状だけでなく、それぞれを取り巻く周囲の環境を評価して判断をするというマネジメント力が必要であり、それを鍛錬出来ることが特徴的でした。

プログラムの履修にあたりポートフォリオの作成が必要となります。秩父市立病院では指導医に週1回を目安にポートフォリオの各項目の内容についての講義や作成支援、ポートフォリオのチェックとフィードバックを行っていただきました。自分で成書を読んでも具体的な理解をすることは難しく、1対1で理解できるまで教えてもらったことはとても貴重だったと思います。

# 医療法人花仁会 秩父病院

地域医療に情熱を燃やす、若い医師の応募を期待します



所在地	埼玉県秩父市和泉町20番地
電話	0494-22-3022 (代)
診療科目	外科、内科、整形外科、肛門外科、放射線科、腫瘍内科、肝臓内科、麻酔科、消化器外科、消化器内科、循環器内科、形成外科、歯科、歯科口腔外科、矯正歯科
病床数	52床（全て一般）開放型病院
取得できる専門医	日本外科学会外科専門医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会内視鏡専門医、日本プライマリ・ケア連合学会専門医、日本人間ドック学会専門医
URL	<a href="http://www.chichibu-med.jp/">http://www.chichibu-med.jp/</a>

●当院は、専門性を併せ持った総合医・地域医療に貢献できる医師の育成に努めています。

## 花輪 峰夫 院長



日本医科大学（昭和47年卒）  
医学博士  
外科専門医・指導医  
麻酔科標榜医  
厚生労働省指定臨床研修指導医

**【当院の特徴】**創業明治20年、救急告示病院、二次救急輪番病院、開放型病院、歯科の併設、独自のオープンシステム、年間600件以上の手術、研修医制度臨床協力施設（協力依頼9医療機関）、NST稼働認定施設、病院機能評価認定施設、人間ドック機能評価認定施設並びに指導施設。敷地内に独自のヘリポートを併設しています。病棟は木造平屋建て、木の香りに包まれ、豊かな自然環境の中にある病院です。

### 【小病院のメリットが自慢です】

- 1、全スタッフに地域医療に貢献するという気概がある。
- 2、機器や設備の利用に待ちがなく、診断から治療まで迅速に行われている。
- 3、各科、各部署が縦割りではなく、職員全員が患者さん中心に一体となって機能している。
- 4、個々の存在感と責任意識が高く、且つ、和気あいあいの気風が醸成されている。
- 5、きめ細かく柔軟な対処が可能である。

当院の理念である『地域で標準以上の医療が受けられること』を実践するため、腹腔鏡下手術（胆嚢、胃、大腸）。上部、下部内視鏡（検査・処置・手術）、画像診断部門ではCT コロノグラフィー等の先進医療を取り入れています。医療の進歩に遅れないよう学会活動も積極的に行っています。ベテラン指導陣が情熱を傾けて、指導いたします。一緒に『地域医療を担える深く広い能力を持った医師』を目指しましょう。

（ホームページを是非ご覧下さい）



## 坂井 謙一 副院長

東邦大学医学部（昭和63年卒）  
認定内科医  
総合内科専門医  
消化器病学会専門医  
消化器内視鏡学会専門医・指導医  
日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医  
人間ドック健診認定医・指導医  
総合診療領域特任指導医（日本専門医機構）  
日本医師会認定産業医  
厚生労働省指定臨床研修指導医



## 平原 和紀 内科医長

福井大学医学部（平成18年卒）  
総合内科専門医  
肝臓専門医  
肝臓機能障害指定医師  
消化器病学会専門医  
消化器内視鏡学会専門医・指導医



## 山田 正己 診療部長

福島県立医科大学医学部（平成9年卒）  
医学博士  
外科専門医  
麻酔科標榜医  
日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医  
総合診療領域特任指導医（日本専門医機構）



## 福田 千晶 先生

自治医科大学医学部（平成17年卒）  
認定内科医  
総合内科専門医  
日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医  
総合診療領域特任指導医（日本専門医機構）  
人間ドック健診専門医  
日本医師会認定産業医



## 大野 哲郎 外科部長 内視鏡センター長

群馬大学医学部医学科（平成12年卒）  
医学博士、米国外科学会フェロー  
外科専門医・指導医、消化器外科専門医・指導医  
消化器病学会専門医・指導医  
消化器内視鏡学会専門医・指導医  
日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医  
総合診療領域特任指導医（日本専門医機構）  
厚生労働省指定臨床研修指導医  
がん治療認定医



## 黒澤 奈美江 先生

新潟大学医学部（平成元年卒）  
日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医  
日本医師会認定産業医  
総合診療領域特任指導医（日本専門医機構）  
日本医師会認定健康スポーツ医

# 埼玉医療生活協同組合 皆野病院

あそこで働きたい！と言われる病院をめざして



所在地	埼玉県秩父郡皆野町皆野2031番地1
電話	0494-62-6300
診療科目	外科、内科、整形外科、神経内科、消化器内科、呼吸器内科、婦人科、皮膚科、眼科、歯科口腔外科、脳神経外科、小児科、リハビリテーション科、放射線科
病床数	150床（一般病床60床、医療療養90床）
URL	<a href="http://www.minano-hospital.jp/">http://www.minano-hospital.jp/</a>

- 地域における医療の要請、生活環境、所帯、インフラの特徴を理解します。
- 救急、プライマリケア、病棟勤務、教育活動などの地域医療を経験することにより、生涯にわたり医療・医学に取り組むための基本を身につけます。

## 若山 昌彦 院長



当院では、救急や手術を含め様々な急性期や回復期の医療も、生活習慣病や加齢に伴う様々な疾患や透析を含めた慢性期の医療も、外来・病棟・訪問などを通して提供しています。そこで提供されているサービスは、患者さんの身体のことだけでなく、考え方や人生観や御家族を含めた患者さんの環境を考慮した、人生のサポートです。その中で学び、医療の本質に迫ってほしい。何事も初めから上手にできるわけではなく、努力は辛いものとなるかもしれない。それでも続けていけば、徐々に上手になります。上手になれば辛さは減り、続けやすくなり、さらに上手になり、様々な経験や知識が蓄積されます。それが本質に迫る方法の一つです。自分の行っていることの意義が見えてきます。そして自分が医師として何がしたいのか、すなわち自分の本当の理想の医師像をつかんで欲しい。君の成長のために、私たちも全力で協力をします。

## 看護部長 倉林 昭子

皆野病院は埼玉県の北部で自然が多く癒される環境にあります。

専攻医は救急、急性期から慢性期、入院から在宅へと患者に関わるので必ず知識・技術の向上、キャリアアップにつながると思います。また、研修を受けた先生からは『いろんなことが実践で学ぶことができたし、職員も優しい。誰に聞いても教えてくれる。』との声をいただいています。

看護師一同で先生をサポートします。是非研修にお越しください。



## 初期研修医 2年目 渡慶次 裕也 先生 【研修期間】平成30年6月～7月

平成30年6月と7月に2か月間皆野病院で地域研修をさせて頂きました。救急を断らないという病院の方針の元、救急対応と入院どちらも担当しました。入院主治医として患者様の治療にあたり、四苦八苦しましたがスタッフの方々に支えられ、有意義な経験をさせて頂きました。私は今まで沖縄で生まれ育ち、周りを海に囲まれていましたが、秩父は周りを山と川に囲まれており、普段見ないような症例もありました。さらに訪問看護や往診などにも少しですが関わることができて、病院に来る患者様だけでなく、地域に根差した医療というものも感じる事が出来ました。研修医としての立場ではなく、1人の医者としてどう考えて行くべきか、また医者とはどうあるべきかを考えさせられました。それまでの研修の反省とこれからの改善点などを考えるには絶好の機会を与えてくれる病院だと思います。ぜひ、沢山の方に皆野病院で研修をして頂きたいです。

# 医療生協さいたま 秩父生協病院

地域連携の中で、多職種とともに学べます



所在地	埼玉県秩父市阿保町1番11号
電話	0494-23-1300
診療科目	内科、小児科、リハビリテーション科
病床数	75床(回復期リハビリ病棟40床、療養病棟35床)
取得できる専門医	家庭医療専門医(日本プライマリ・ケア連合学会) 埼玉協同病院「内科専門医」「総合診療専門医」教育関連施設
URL	<a href="http://www.chichibu-ch.or.jp/">http://www.chichibu-ch.or.jp/</a>

●ヘルスプロモーションを推進し、地域の人々とともに、利用者中心で安心・安全の保健・医療・介護・福祉を利用できる明るく住みよい地域づくりを行っています。

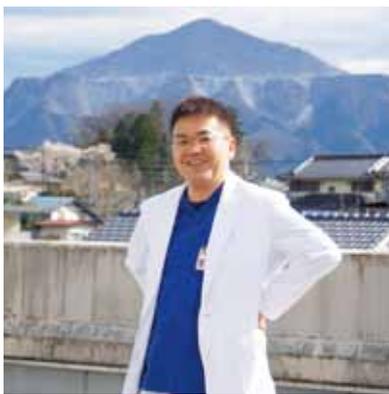


山田 昌樹 院長

新潟大学(昭和53年卒)  
循環器専門医  
日本医師会認定産業医  
臨床研修指導医  
日本プライマリ・ケア連合学会  
認定医・指導医

当院は1955年開設、2000年新病院に移転、2009年回復期リハビリ病棟を開設、歯科医師と連携した口腔ケアなど、地域の多職種と連携し活動しています。

武甲山と美しい奥秩父連山の眺望が良好な、回復期リハビリ病棟と療養病棟では、看護師・介護士・薬剤師・栄養士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・SW・ケアマネ・家族・本人が参加するチーム医療で多層的な治療を行います。多職種カンファレンスと電子カルテ利用による細やかな方針検討を通して、複雑な病態を改善するプロセスと介護問題を解決するソリューションを学べます。患者・家族から好評のVE検査・VF検査・嚥下障害対応・認知症対応・障害者対応・独居対応・生活困窮者対応・終末期対応・緩和ケアには特に注力していますので、医師としてスキルアップ可能です。外来では糖尿病・心不全・脳梗塞・認知症・介護問題・在宅医療など、内科医・プライマリケア医として慢性疾患管理に精通します。



指導医  
吉野 隆之 医局長

長崎大学(平成9年卒)  
総合内科専門医  
臨床研修指導医  
日本プライマリ・ケア連合学会  
認定医・指導医

## 後期研修を終了して

地域に必要とされることを勉強し、地域に貢献できる人になりたい。それが研修の獲得目標でした。秩父で必要とされている高齢者医療や慢性疾患管理、往診・在宅・施設での看取りも経験して、大学や大病院にいたら感じられないことが得られました。地域に出向いての健康教育も大切な経験のひとつでした。今後は、力をつけて救急医療や、小児医療なども勉強していきたいと思います。秩父は医療機関同士の連携がよく、色々な面で勉強になりました。地域ごとに患者さんの持っている問題も違います。秩父で必要とされることを地域の連携をいかながらできる研修が一番いいと思います。

# 国民健康保険町立小鹿野中央病院

里山で先進的な地域包括医療・ケアを学んでみませんか！



所在地	埼玉県秩父郡小鹿野町小鹿野300番地
電話	0494-75-2332
診療科目	総合診療科（内科・外科）、整形外科、婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、心療内科・精神科、リハビリテーション科
病床数	95床（一般病床）
URL	<a href="http://byoin.town.ogano.lg.jp/">http://byoin.town.ogano.lg.jp/</a>

## ●プライマリ・ケア、地域包括医療・ケアの実践

病院スタッフ、保健師、訪問看護師、ケアマネ、行政職員、保険薬局、施設職員といった多職種メンバーによる定期的なカンファレンス等で顔の見える関係性を築き、広い視点から検討したサービスを提供しています。

## ●在宅医療・緩和ケアの充実

## ●座談会・健康教室等、地域に出向いての住民啓発



### 内田 望 院長

自治医科大学（平成9年卒）  
日本プライマリ・ケア連合学会  
認定医・指導医  
日本医師会認定産業医  
地域包括医療・ケア認定医  
臨床研修指導医  
総合診療領域特任指導医  
（日本専門医機構）  
日本緩和医療学会認定医

小鹿野町は、埼玉県の西北端にあり、豊かな自然に囲まれた、人口約11,300人、高齢化率約38%の典型的な中山間地です。当院は1953年に国保直診として開設した歴史があり、2002年には病院に行政の保健福祉センターを併設して、保健・医療・介護・福祉の多職種協働による地域包括医療・ケアを充実させてきました。上記の診療科目と入院機能を有し、予防から看取りまで地域の様々な医療やケアのニーズに迅速に対応できる研修に最適なフィールドです。総合診療医として在宅⇄入院の切れ目のない医療を担うとともに、地域の課題を包括的な視点で考えられる医師の育成を目指しています。



### 指導医

### 山下 拓斗 診療部長

自治医科大学（平成19年卒）  
日本在宅医学会認定専門医  
日本プライマリ・ケア連合学会認定家庭医療専門医  
日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医  
地域包括医療・ケア認定医  
臨床研修指導医  
総合診療領域特任指導医（日本専門医機構）

## 【地域医療研修内容】

### ●院内研修

一般病棟、新患外来、心療内科外来、救急対応、内視鏡検査、超音波検査、介護保険主治意見書作成、緩和ケアカンファ、地域ケア会議、事例検討会等

### ●院外研修

在宅診療（訪問診療、訪問看護、ケアマネジャー、訪問薬剤師同行）、精神障害者通所作業所、診療所、特別養護老人ホーム、ヘルスポモーション 他

## 埼玉石心会病院初期研修医 2年目 雨宮 光男 先生 【研修期間】平成29年1月16日～2月10日

小鹿野町では病院と同じ敷地に役所の保健課と福祉課の窓口があり、医療・介護・保健・行政が綿密に連携している特徴があります。院内では定期的に各部署の参加する会議があり、患者や家族の抱える問題点について多面的に話し合うことで解決していく姿が非常に印象的でした。これまで病院内での研修がメインであった私にとって、地域医療とこれほど具体的に触れ合う機会は大変貴重なものとなりました。地域医療として小鹿野町はモデルケースにもなっていて、海外から視察がくることもあります。スタッフも熱心な方が多く、患者や家族の方も安心して在宅医療を受けている印象がありました。今後高齢者が増加する日本において、小鹿野町のように連携のとれた医療体制のある地域が増えることが大切と感じられる、そのような研修となりました。

# ● 総合診療専門医養成プログラムにおけるその他連携施設 ●

## 医療法人 社団慶宏会 南須原医院

専門研修責任者 院長 南須原 宏城

●所在地：埼玉県秩父郡長瀬町本野上174番地3 ●電話：0494-66-2038

### ●診療所の特徴

長瀬町における診療所として外来・救急・在宅診療を中心に、多くの町民にとって、唯一のかかりつけ医療機関としての機能を果たしています。小児から高齢者までの幅広い患者層を持ち、特に筋骨格系疾患を持つ患者へのリハビリを理学療法士と協力して行っています。平成19年から在宅支援診療所として在宅医療に取り組み、年間約60件の看取りを実施しています。町に位置する特別養護老人ホームの嘱託医の職責や、保育園医、小学校医、高校産業医等も行っています。

## 眼科 並木医院

専門研修責任者 院長 並木 滋士

●所在地：埼玉県秩父市熊木町6番23号 ●電話：0494-22-1668

### ●診療所の特徴

秩父保健医療圏の秩父市に位置し、秩父地域における眼科の診療所として外来診療を中心に、多くの住民にとって眼科の中心的な医療機関としての機能を果たしています。高齢者を中心とした慢性疾患に合併する眼科への対応を行っています。日帰り白内障手術、レーザー光凝固術、硝子体注射を随時施行しています。秩父郡市医師会において乳幼児健診や学校医活動にも積極的に取り組んでいます。

## 井上皮膚科医院

専門研修責任者 院長 井上 靖

●所在地：埼玉県秩父市本町9番1号 ●電話：0494-22-0336

### ●診療所の特徴

皮膚科専門の診療所ですが、圏域内の病院、福祉施設、患者宅への往診も積極的に行い、内科疾患の合併皮膚症状の治療も多くしています。またアレルギー疾患、真菌症、小児皮膚科の受診患者も多く、皮膚手術も多く手掛けています。研修では救急外来で出会う可能性の高い皮膚感染症や皮膚炎、薬疹、蕁麻疹、熱傷などの診断と治療、また軽度な外傷の処置や、簡単な皮膚縫合についても指導します。

## 酒井耳鼻咽喉科医院

専門研修責任者 院長 酒井 文隆

●所在地：埼玉県秩父市大野原934番地 ●電話：0494-25-4187

### ●診療所の特徴

耳鼻咽喉科研修は、短い期間ではありますができるだけ多くの症例を経験していただき、基本的な耳、鼻、咽喉頭の診かたから、耳鼻咽喉科領域の common disease、救急疾患に初期対応ができる医師となれるよう指導していきたいと考えておりますので、宜しくお願いします。

## 医療法人 岩田産婦人科医院

専門研修責任者 院長 城谷 誉子

●所在地：埼玉県秩父市番場町13番1号 ●電話：0494-24-1336

### ●診療所の特徴

秩父保健医療圏の秩父市に位置し、秩父地域における唯一の分娩を扱う産婦人科診療所です。埼玉医科大学病院、埼玉医科大学総合医療センターの連携施設であり、また、産科医師の派遣も受けているため、緊急時転院搬送等にも迅速な対応を行っています。秩父郡市医師会において、予防接種や乳幼児健診にも積極的に取り組んでいます。

## 自治医科大学附属さいたま医療センター 専門研修責任者 総合診療科准教授 福地 貴彦

●所在地：さいたま市大宮区天沼町1丁目847番地 ●電話：048-647-2111

### ●病院の特徴

最新の医療設備を備え、優秀なスタッフが診療、教育、医学研究に当たっており、さいたま市のみならず埼玉県中部の中心的な医療機関である。「患者にとって最善の医療をめざす総合医療」と「高度先進医療をめざす専門医療」の一体化とその実践を目標としている。許可病床数 628 床と 20 標榜診療科を擁し、救命救急センターや地域がん診療連携拠点病院などに指定されている。

ちちぶ医療協議会事務局 (秩父市役所 保健医療部 地域医療対策課)

〒368-8686 埼玉県秩父市熊木町8番15号 TEL.0494-22-2279

ホームページ▶<https://www.chichibu-hsp.org/> フェイスブック▶<https://www.facebook.com/chichibu.iryokyogikai/>